



ペンギン島自然保護区はパースから南へ車で約45分。ロッキンガムの沖合に浮かぶペンギン島はフェリーで約5分。世界最小のペンギン生息地として保護区に指定されている。島内ディスカバリーセンターでは保護されたペンギンの餌付けが1日3回行われファミリーに大人気。さらに、対岸のアシカ島には日向ぼっこをするアシカやペリカンのコロニーを見学するボートクルーズツアーも催行されている。保護区に指定されている島なのでお店やカフェはないので各自ピクニックランチを持参ください。島内ガイドウォークや



スノーケリングツアー、カヤック、カイトサーフィンも行われているので1日楽しめます。1) ペンギンの餌付け 2) & 3) イルカ・ペンギン・アシカ・アドベンチャークルーズの様子。4) ペンギン島には多くの渡り鳥の子育ての場所でもある。写真はカモメ科のアジサシ 5) アシカ泳ぐ入江をカヤックで大接近！ 6) アシカとペリカンのコロニー「アシカ島」 7) フレンドリーなイルカ達 8) イルカと一緒に海で泳ぐ「ドルフィンスイム」もロッキンガム栈橋から出発します。9) ドルフィンクルーズの様子。

## 野生のイルカと泳ぎたい

[西オーストラリア州 パース]

直行便で約5時間10分



ドルフィン・スイムを主催するロッキンガム・ワイルドライフ・エンカウンターズの創設者テリー・ホウソンは1989年に1頭のメスのイルカ「ロボ」と一緒に泳ぐことに1年かけて成功し、その後、一般向けのドルフィン・スイムを立ち上げました。それから20年以上に渡ってイルカ達との友好関係を保っています。

彼らが大はしゃぎで舞う姿はとても美しく愛らしい姿です。ピーピーと笛の音のような声やカリカリという音を出すのはエコーロケーションといって音波で距離感や位置を確認するためだそうです。

イルカと泳ぐコツは「ただ浮かんでいること」バタバタして音を立てたり、イルカの進行を妨げたりするのは彼らのご機嫌を損ねてしまいます。イルカとの信頼を重ねているガイドがアクアスクーターを使って水中に入るとイルカ達はガイドに向かって突進してゆき、まるでじゃれるようにガイドの周りをグルグル回りだします。

彼らが大はしゃぎで舞う姿はとても美しく愛らしい姿です。ピーピーと笛の音のような声やカリカリという音を出すのはエコーロケーションといって音波で距離感や位置を確認するためだそうです。

イルカとの遭遇率  
なんと99%  
遭遇できない場合は  
次回の参加無料！